

第1学年	家庭科	使用教材	教科書（開隆堂）
------	-----	------	----------

<学習の目標>

生活に必要な基礎的・基本的な知識および技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

授業のポイント	・準備物をそろえ、話をしっかり聞くこと。 ・提出物は期限内に提出する。自分の意見をしっかり持ち、積極的に発表する。
家庭学習について	・家での実践で力をつけることができる。自分なりに工夫して取り組む。 ・授業でやったことを家庭でも取り入れる。
テストについて	・1学期末、2学期末試験を実施する。

評価の観点	判断基準について
技術・家庭に関心を持ち、生活をよりよくするために、進んで取り組むことができる。	出席、忘れ物、授業態度、提出物、課題に対する取り組みの姿勢
生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して、工夫し創造することができる。	提出物や課題の内容、定期テスト
生活に必要な基礎的・基本的な技術を身につけている。	提出物や課題の内容、定期テスト
基礎的・基本的な知識を身につけ、生活を技術とのかかわりについて理解している。	定期テスト

<年間授業計画>

学期	単元	つきたい力	課題
1	家庭分野ガイダンス わたしの成長と家族 日常着の活用 日常着の手入れ	家庭科の学習の概要を知ることができる。 これまでに自分が歩んできた道を振り返ることができる。 衣服と社会生活とのかかわりや、衣服のはたらきを知る。 汚れの落ちる仕組みや道具の使い方がわかる。	プリント
2	布を用いた製作	必要な材料・用具、目的に合った縫い方を考え、製作することができる。	作品
3	快適に住まう 住生活の課題と実践	住まいへのはたらきを知る。 住まいへの願い、住まい方のルールについて考えることができる。 健康で快適な室内環境について考えることができる。	プリント
	健康と食生活 日常食の献立	食事の役割や栄養素について考えることができる。 一日分の献立を考えることができる。	プリント

<荒牧中学校 研究テーマ>

「自主・自立を促し、主体的に学び活動する生徒の育成

～言語活動の先にある協同的探究を目指して～

自主的に取り組める雰囲気づくりをし、生徒同士の意見交換によって課題を見つけ、その課題を解決できる授業づくりをする。

